

＜スポーツ庁委託事業：スポーツの価値を基盤とした教育＞

山形県立山形中央高等学校「山形中央フェアプレイ宣言」

“私たちのフェアプレイ宣言、体育祭へ、学校生活へつなげる”

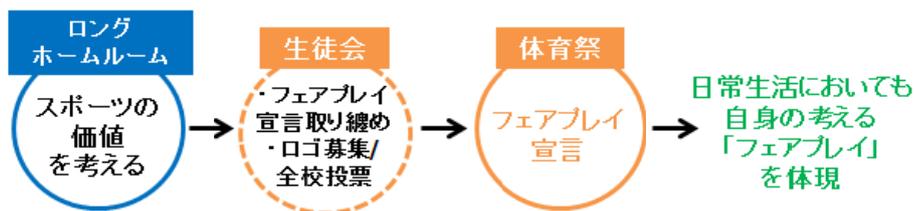


2016年7月5～6日に山形県立山形中央高校の体育祭開会式において、生徒による「山形中央フェアプレイ宣言」が行われました。この「山形中央フェアプレイ宣言」は、体育祭における活動にとどまらず、体育祭終了後の日常生活においても、生徒一人一人が自分自身で「フェアプレイ」を体現していくことを狙いとしています。本件は、特別活動である体育祭を通して、学校全体の取組として「スポーツの価値を基盤とした教育」を展開している国内で初めての事例となります。

【取組の詳細】

山形中央高校（普通科、体育科）では、平成27年度より保健体育の体育理論において「スポーツの価値を基盤とした授業」を実施し、今年度は学校全体の取組として全クラスで「スポーツの価値」を学びました。さらに、生徒が主体となり各自による「山形中央フェアプレイ宣言」と、象徴となるロゴを作成・提案し、全校生徒の投票により「山形中央フェアプレイ宣言ロゴ」（下図参照）を決定しました。

体育祭では、各クラスでフェアプレイ宣言のロゴがプリントされたフラッグに、フェアプレイへの各自のコミットメントを記入し、そのフラッグを体育祭開会式において各クラスが掲揚すると共に、代表者によるフェアプレイ宣言がされました。体育祭終了後、フラッグは各クラスに掲示され、体育祭というスポーツのフィールドだけでなく、日常生活においても自分自身の考える「フェアプレイ」を体現し、長期的に自分自身の行動に生徒が自らが活かせるよう、学校全体としての展開を行っています。



山形中央フェアプレイ宣言

- ルールを守ろう
- 全力でプレーしよう
- 笑顔と握手で終わろう



山形中央フェアプレイ宣言ロゴ

【参加した生徒のコメント】

●僕のフェアプレイは「感謝」

<体育祭実行委員長 渡部大空>

スポーツは、する人、支えてくれる人、応援してくれる人がいます。フェアプレイはその方々に対して、自分自身の態度と行動を持って、感謝の気持ちを伝えられるものだと思います。プレイヤーは支えてくださる全ての人に、自分の姿で恩返しする気持ちで臨む体育祭にしたいと考えました。

●Road To Fairplay

<生徒会長 遠藤あいり>

「山形中央フェアプレイ宣言」を掲げて山形中央高校で作成したロゴには、各学年のカラーと輪を取り入れ、クラスや学年など様々な枠を超えて共に取り組むという意味が込められています。この活動を通してスポーツの意義、素晴らしさを改めて実感しました。



【学校&教員からのコメント】

●『心の拠り所』に <山形中央高校校長 孫田淳>

「小学生・中学生から憧れを持たれる学校、県民の期待に応えることができる学校にしよう」と、呼び掛けてきた中での、この度の『山形中央フェアプレイ宣言』は、日々の生活を送る上での『心の拠り所』になるものです。この取り組みが、本校から県内各高校、そして来夏の「はばたけ世界へ南東北総体2017」を通して、全国の高校に広がることを期待しています。

●スポーツの価値を実感しよう <山形中央高校 保健体育教諭 佐藤若>

クラスで優勝したいという目標の中で、「他チームを思いやり、尊敬しながら、全力プレイ」することで、爽やかな風が吹き込まれました。スポーツが好きな人だけでなく、苦手な人でも「フェアプレイ」を改めて考え、実感し、「スポーツの価値」を高めるスタートに立った生徒達。これからの日常生活や今後の人生でも深めていけるよう、チャレンジを続けていきます。

参照ホームページ

[山形中央高校] <http://www.yamagatachuo-h.ed.jp/>

[PLAY TRUE 2020, Sport for Tomorrow] <http://playtrue2020-sp4t.jp/jp/>

【スポーツの価値を基盤とした教育】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議の報告をはじめ、昨今、IOC、IPC、UNESCO、WADA（世界アンチ・ドーピング機構）などの国際的なスポーツ関係機関、教育機関からも「スポーツの価値」に基づいた教育の重要性が強調されている。

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）では、スポーツ庁委託事業にて生徒のスポーツに対する視座の醸成や「生きる力」の育成を目的とし、アンチ・ドーピングの考え方を通して「スポーツの価値」を考え、表現し、体現する教育（保健体育、教科外連携、特別活動、課外活動など）を推進している。

《本件に関する問合せ先》

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

国際企画グループ 高須、堀、山本

TEL : 03-5963-5708

E-mail : playtrue2020.info@playtruejapan.org